



石巻広域クラブ通信 <No.87>

THE Y'S MEN'S CLUBS OF GREATER ISHINOMAKI
CHARTERED MAY 28, 2016

YMCA-ISHINOMAKI-CENTER
KyuEikoyochienchinai2-12-3, Okaidokita,
Ishinomaki, 986-0854, Japan

〒986-0854 石巻市大街道北 2-12-3
旧栄光幼稚園 2階 YMCA 石巻センター
電話 090-6252-7970(日野)090-2365-7940 (清水)

2023年11月号

E-mail: gishinomaki@gmail.com

E-mail: koichi1839@outlook.jp

== 2023-2024年度 主題 ==

クラブ会長 青木満里恵「会員同志の親睦を深め、地域に奉仕しよう！」
北東部部長 大久保知宏(宇都宮)「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」
東日本区理事「未来のために今、学びと気づきを！未来のために自信を育み、真の喜びに出会う」
アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう」
国際会長 Ulrik Lauridsen (Denmark)「輝かそう、あなたの光を」

<今月の聖句>

「わたしの名によってわたしに何かを願うならば、わたしがかなえてあげよう」(ヨハネによる福音書 14:14)

<強調月間> BF/iGo・STEP

11月第一例会プログラム

日時 11月24日(金) 18:30~20:30

場所 YMCA 石巻センター

月当番 大林健太郎・阿部かよ子

司会 川上 直哉

1. 開会点鐘と挨拶 クラブ会長 青木満里恵
2. ワイズソング・信条 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 司会
4. 今月の聖句・食前の祈り 関川祐一郎
5. 食事と懇談
6. ゲスト挨拶 仙台YMCA 総主事 加藤 雄一
7. 諸報告(1) ①12月クリスマス例会と拡大役員会
②十勝じゃがいもファンド報告 ③YMCA パレス
チナ緊急募金について ④ストレッチヨガ教室案内
8. 特別プログラム (1) クリスマスソングの練習
(2) アジア・太平洋地域大会報告(仙台青葉城クラブと合同報告会)~オンライン~
9. 諸報告(2) ①YMCA 報告 ②その他
10. ニコニコ 会計
9. ハッピーアニバーサリー

11月29日: 斎藤勉さん

10. 閉会の挨拶と点鐘 副会長 関川祐一郎

第30回アジア太平洋地域大会報告

石巻広域ワイズメンズクラブ
会長 青木 満里恵

真夏の気温が続く香港で4年ぶり対面での第30回アジア太平洋地域大会香港2023が11月3日~5日の3日間、メイン会場は金蓮花国際宴会場、最終日は香港中華YMCAで行われた。参加者は約350名、東・西日本区からは85名が参加した。第一日目は17時半よりフラッグセレモニーでスタート、さまざまな出し物やパフォーマンスと豪華な香港料理を堪能して、21時半に終了。第二日目は朝より3コースに別れてエクスカージョン、18時半より晩参会がスタート、5エリアのパフォーマンスで盛り上がった。最終日は、感謝礼拝、AYC報告、IBC締結式、閉会式と進み、最後はビュッフェランチでのお別れとなった。



<次ページにつづく>

10月データ / 11月号内容: 巻頭言(第30回アジア太平洋地域大会報告)、10月例会報告、11月拡大役員会報告、今後のスケジュール、YMCASSTEP II 研修生交流会報告、「ネパールランドセルプロジェクトに寄せて」の寄稿文、IBC締結式、YMCA報告など

会長 青木 満里恵
副会長 関川 祐一郎
 " 姉齒 一紀
書記 川上 直哉
会計 櫻井 美智江
直前会長 日野 峻
担当主事 斎藤 勉

10月例会出席	19名	在籍会員数	19名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	8名	月間出席者	10名	スマイル	11370円	18,170円
ビジター・メネ	1名	メーカーキャップ	2名	ファンド	0円	0円
ゲスト・コメ	3名	月間出席率	53%	BF	0円	0円

改めて、ワイズメンズクラブが国際組織であること、そして YMCA も、もちろん国際組織で、香港には、沢山の YMCA 関連のビルなどあり、100 年以上前に遡る歴史ある場所であることなど、感じてまいりました。アジア太平洋地域だけでも、沢山のワイズの仲間が居ることも心強く感じ、来年の国際大会はタイのチェンマイであることも聞き、是非参加したいと思って帰って来ました。(大会の詳細は次月号にて報告いたします)

余談ですが、香港ディズニーランドに私と櫻井さんが行って参り、いい思い出になりました。20 代、30 代、40 代の若者たちと 6 人だけで行きましたが、東京ディズニーランドと規模はほぼ同じながら、待ち時間が、5 分~15 分ぐらいでほぼ乗れたり見たりできるので、最高に楽しかったです。この年でスペースマウンテン始めグリズリーマウンテン?とやらにも乗って参りました。極めつけは、シニア料金が 100 香港ドル=約 2000 円だったことです。私のみシニアでしたが櫻井さん他 5 人は 700 香港ドル=約 14,000 円だったことです。円安の現実を身近に感じた時でもありました。



10月第一例会報告

- 日時 2023年10月27日(金) 18:30~20:30
場所 YMCA 石巻センター
出席者 青木会長、阿部か、大林、川上、川上灯・奏、齋藤、清水、関川、日野<ビジター>松川ふみ子・遠藤正枝(歌の会フレンド)
1. 開会点鐘 クラブ会長 青木満里恵
 2. ワイズソング・ワイズの信条 一同
 3. ゲスト・ビジター紹介 書記 川上 直哉
 4. 今月の聖句・食前の祈り 関川祐一郎
 5. 食事と懇談
 6. メンバースピーチ 担当主事 齋藤勉さん
 テーマ:「4年ぶりのチャリティーラン開催」
 7. 諸報告(YMCA 報告、十勝ジャガイモ他)各担当
 9. スマイル 11,370円 副書記 清水弘一
 10. ハッピーアニバーサリー 9/8:林昭宏さん、
 10/12:大林祐子さん、10/21:姉齒瑠美さん
 11. 閉会挨拶と点鐘 副会長 関川祐一郎

10月の役員会で、例会の持ち方について議論がありました。メンバーの出席率の向上を図るために、工夫ができるのではないか。今は主に「外部」から講師をお呼びしてのスピーチを中心に行っているけれど、もっと「内部」の親睦や交流を中心にする可能性も、あるのではないかと。「自分たちが、自分たちで楽しむ」という例会を考えてみよう。そんなことを、会長のイニシアチブで、話し合ったことでした。

10月・11月・12月の例会は、そうした方針を受けた企画になっています。10月は、「仙台 YMCA」の活動を知ろうということで、仙台 YMCA 職員の齋藤勉さんにスピーチをお願いしました。齋藤さんは「チャリティーラン」について、たくさんの写真資料を用いつつ、お話しくださいました。

「コロナ」の騒動で、しばらく開催できなかったのが「仙台 YMCA インターナショナル・チャリティーラン」です。第 29 回となる今年もまだ、いつも会場としている東北学院大学泉キャンパスが使用できず、富谷市総合運動公園を会場にしての開催となりました。

「障碍(がい) = 障害」と共に生きる人々も、日本語に不自由な人々も、みんな、一緒に「走る」ことはできる。その喜びを共有することができる。みんなで一緒に走ることで、「障がいのある子どもたちを支援するとともに、“障がい”への社会的な理解と関心を高めること」を目的とした駅伝大会が「インターナショナル・チャリティーラン」です。1987年に、東京 YMCA が始めました。今では全国各地で毎年 1 万 2 千人以上が参加する催事となっています。約 30 年前から「仙台 YMCA インターナショナル・チャリティーラン」を毎年開催してきました。

今年の仙台 YMCA のチャリティーランでは「駅伝 30 チーム・ファミリーラン 16 チーム」が支援しました。その中には川上コメットと一緒にスキーキャンプに参加した友達もおり、例会では写真に顔を見つけて懐かしがっていました。参加者・支援者からの募金は約 160 万円となり、YMCA の子ども支援活動に約 90 万円が支援金として贈られました。

以上の齋藤さんのご報告は、石巻クラブのメンバーにとって、「仙台 YMCA」というものの実際をよく伝える良い機会になりました。石巻では YMCA のイメージが薄く、結果として、「YMCA の後援団体」としてのワイズメンズクラブのアイデンティティも弱くなりがちです。今回のようなご報告は、本当に意義あるものと思われました。

また、齋藤さんのお話の後に、「フレンズ」の皆さんが歌をリードしてくださり、みんなで歌う楽しい時を持ちました。青木会長を筆頭にクラブの活性化が目指されています。11 月も、その挑戦が続きます。

場 所 泉国際ゴルフクラブ

その他 参加人数 88 名

(6) YMCA ステップⅡ研修生との交流会について

日 時 2023 年 10 月 25 日 (水) 19:00~21:00

場 所 石巻グランドホテル 1F ロレット

参加者 青木、石川、川上、櫻井、関川、清水、林
研修生 13 名、仙台 YMCA1 名 計 20 名

内 容 自己紹介、3.11 の 12 年 7 か月を振り返って、
石巻を訪問して感じる事、その他

(7) 第 30 回アジア太平洋地域大会／仙台青葉城クラブ&ネパール・ルンビニクラブとの IBC 締結式報告

- ・ネパール・ルンビニクラブとの IBC 締結について
- ・アジア太平洋地域大会 3 日目に調印式
- ・仙台青葉城クラブ菊地会長代理、清水が立会い

6. 協議事項 議長 青木会長

(1) 11 月第一例会の開催について

日 時 2023 年 11 月 24 日 (金) 18:30~20:30

場 所 石巻センター

内 容 ①フラダンス講習②クリスマスソング練習
③アジア太平洋地域大会報告

その他 講師の要請、司会者の選任など

(2) 12 月クラブクリスマス例会の開催について

日 時 2023 年 12 月 8 日 (金) 18:30~20:30 (

場 所 石巻センター

内 容 テーマ:「平和を祈り楽しく!」

(3) 12 月クラブ拡大役員会の開催について

日 時 2023 年 12 月 22 日 (金)

場 所 石巻センター

内 容 「今年度後半に向けて」①会員増強作戦②新
年例会について ③新年号の発行 ④その他

(4) 仙台 YMCA パレスチナ緊急支援街頭募金の件

実 施 日:2023 年 11 月 23 日 (木・祝) 13 時~15 時

実施場所:フォーラス前及びアーケード街グッチ前

*イスラエルとパレスチナにある 3 つの YMCA への
支援のため

(5) 仙台 YMCA クリスマスについて

日 時 2023 年 12 月 1 日 (金) 18:00~20:30

場 所 トークネットホール仙台地下ホール

内 容 礼拝と祝会

チケット (一般:1,000 円/学生:500 円/小学生:
300 円/小学生未満・留学生とその家族無料

／『応援券』:500 円) =国際地域協力募金へ

(6) C・N ワイズの退会申し入れについて

(7) その他

①11 月、12 月号クラブブリテンの原稿依頼について

・巻頭言:アジア大会参加報告 (会長)

・10 月第一例会報告

・YMCSTEP2 研修生との交流会報告

②今年度会費納入のお願い



11 月拡大役員会報告

日 時 2023 年 11 月 10 日 (金) 18:30~20:00

場 所 YMCA 石巻センター

出席者 青木満里恵、阿部かよ子、大林健太郎、川上直
哉、清水弘一、関川祐一郎

1. 開会点鐘 青木会長
2. ワイズソング 一 同
3. 会長あいさつ 青木会長
4. 軽食
5. 報告事項

(1) 10 月第一例会の開催報告

日 時 2023 年 10 月 27 日 (金) 18:30~20:30

場 所 YMCA 石巻センター

内 容 ゲストスピーチ 仙台 YMCA 担当主事
斎藤勉氏

テーマ:「4 年ぶりのチャリティーラン開催」

(2) 「いのふえす」(仙台市錦町エマオバザー) への出

店報告

日 時 2023 年 11 月 4 日 (土)

場 所 東北教区センターエマオ(仙台市青葉区錦町)

内 容 シャロームいしのまき出店

(3) 十勝カボチャ・じゃがいもの到着と石巻での販売

日 時 2023 年 11 月 10 日 (金) 現在

内 容 ①かぼちゃ 10 kg 8 箱 ②三種詰め合わせ
22 箱 ③支援かぼちゃ 15 箱

収 支 現在集計中

(4) YMCA ストレッチヨガ教室の開催(通算 33 回目)

日 時 2023 年 10 月 18 日 (水) 10 時~12 時 ヨガ
教室 10 時~11 時 お茶会 11 時~12 時

場 所 新蛇田集会所

参加者 14 名

会 費 100 円

次 回 12 月 12 日 (火) 10 時~12 時

(5) YMCA チャリティゴルフ大会の報告

日 時 2023 年 10 月 19 日 (木) 8:00~16:00

③その他

■YMCA ステップⅡ研修生との交流会報告

書記 川上直哉

「ワイズメンズクラブ」は、「YMCA 運動」を支援する後援団体です。

「YMCA」運動は、「世界 YMCA 同盟」を中心に、世界 6 地域に編成されるキリスト教精神に基づいた国際運動です。「アジア太平洋地域」の中に「日 YMCA 同盟」があります。日本全国の「YMCA」が、この「日本 YMCA 同盟」を形成しているのです。

大学にも、都市にも、「YMCA」があります。それぞれの YMCA は自律性を持って自立しています。しかし、それではばらばらになって、世界との繋がりも失いかねません。それで「日本 YMCA 同盟」が全体をつなぐ役割を担います。とりわけ、各 YMCA の業務執行の責任を負う「主事」を研修によって育てることは、「日本 YMCA 同盟」の大切な役割となります。研修には「ステップⅠ」「ステップⅡ」「ステップⅢ」があります。この「ステップⅡ」は、研修仲間と宿泊しあるいはフィールドワークに出かけて絆を深めつつ YMCA 活動について研修する者となります。この「ステップⅡ」研修のフィールドワークを、今年是被災地で行うこととなり、仙台 YMCA 常議員会で受け入れを確認し、川上が担当者として企画・催行するという段取りとなりました。

フィールドワークは 17 名の研修生が参加され、10 月 24～26 日に行われました。24 日は仙台で、25 日は石巻で、26 日は福島で、研修をいたしました。研修全体は、「世界 YMCA 同盟」が世界規格として定めた目標「Vision2030」を背骨として企画しました。

「私たちのビジョンは、一人ひとりが自分自身と、社会と、そして被造物と調和して生きることができる世界です」という言葉で「Vision2030」は表現されています。津波被災地の「復興」の現実と原子力災害の被災地の現実は、この「ビジョン」を深く考える場所として、まことにふさわしいと思われました。巨大防潮堤によって踏みつけにされる被災地があり、津波被害の程度によって分断されている被災者がいる。見えない放射能に不安を掻き立てられつつ、日本全体がそのことを忘れて原発事故を風化させている。そして、その現場で踏みとどまる当事者と支援者がいる。その一人ひとりと出会い、問われ、考えること。そうしたことを、フィールドワークで目指しました。初めての試みで、課題も見えました。企画者としても、とても有益な時を過ごすことができました。

仙台では、仙台 YMCA の施設見学と職員懇親会が行われ、石巻では、石巻広域クラブとの懇親会が開催できました。どちらも楽しく豊かな時となりました。私も、仙台 YMCA の施設の現場を丁寧に拝見できたことは、貴重な機会となりました。ご参加くださったみなさま、ご協力くださったみなさまに、深く感謝

を覚えます。ありがとうございました。(写真参照)



■年内のクラブスケジュール(11月～12月)

プログラム名	月 日	場 所
11月第一例会	11月24日(金)	石巻センター
北東部評議会(第2回)	11月25日(土)	仙台 YMCA
3.11 みんなの文庫練習	11月28日(火)	石巻センター
YMCA クリスマス	12月01日(金)	旧名: 市民会館
クラブクリスマス例会	12月08日(金)	石巻センター
3.11 みんなの文庫	12月09日(土)	石巻センター
YMCA ストレッチヨガ	12月12日(火)	新蛇田集会所
12月拡大役員会	12月22日(金)	石巻センター

YMCA 報告



担当主事 齋藤 勉

① 第7回山元町イチゴワーク

11月19日(日)に第7回イチゴワークが実施されました。参加者:職員親子2名、元メンバー親子2名、リーダー1名、元職員1名、職員4名の10名が参加。ハウス倉庫の片付け、自宅用のポット入れコンテナ、ポット入れトレー等の移動と苗トレー置き場の土台の片付けを午前中に行い、午後は予備用苗をポットから外す作業を行い今年の作業を終えました。

次回は2024年4月を予定しております。

② YMCA クリスマス

今年で52回目を迎える仙台YMCAクリスマスが下記の日程で開催されます。仙台在住の留学生と一緒に交流会を行います。お時間ありましたら是非ご参加ください。

記

日時:2023年12月1日(金)18時～20時30分
会場:トークネットホール仙台展示室(旧仙台市民会館展示室)

※11月23日(祝・木)街頭募金を行います。急遽パレスチナ緊急支援募金ということで行われます。詳細は例会の時にお話いたします。

また、12月17日(日)にも街頭募金を予定しております。

「ネパールの子どもたちへのランドセル贈呈」に寄せて



監事 石田 信正

私がネパールを訪ねたのは、高校同期会の「還暦をエベレストで迎える会」？に参加した、30年前の元旦を挟む8日間でした。当時のアルバムを初めとする資料は3.11の津波で焼失し、記憶も薄らいでしまいましたが、一応書いてみることにしました。

旅行中お世話になったのが、(株)ヒマラヤ観光開発の宮原 巍社長（ネパール政府工業省家内工業局に勤務。その間に「ネパール観光立国へ、との想をつよくし、エベレストを眺めることのできる、標高3880mの地に、世界一高所のホテル・エベレスト・ビューを建設。後にネパール国籍を取得し国会議員。故人」と現地通訳のニーナさん（日本式に本人が“新菜”と命名。新婚ホヤホヤご主人はドイツ人。今もご活躍中？）でした。

実はホテル・エベレスト・ビューの建設と仙台とは、深い関りがあるのです。

高校同期の故一力英夫君（河北新報元会長・個人・一力次郎氏の次男、慶応大；山岳部、朝日新聞名古屋支社長、朝日旅行会長を歴任）は前記宮原さん（日本大；山岳部）とは大学は異なるが同期で山仲間の親友。ネパール政府に勤務中の宮原さんをカトマンズに訪ね（30歳前？）、「ネパールを観光立国へ」の想を共有しました。

その後のホテル建設に一力君は発起人となり、構想の具体化等の各種会合には河北新報東京支局を提供し、建設費（エベレストの標高8848mに因み）8848万円（後に大幅な値上げ）の確保に彼の人脈をフル活動して当たり、株主のなかには同期生や仙台の財界人も含まれております。またホテルの設計段階で、仙台青葉城クラブの故金原 譲君（建築家）が関わっていたことを思い出し、ご夫人の道子ウイメンにお尋ねしたところ、「ホテルの配管関係で相談されていた」とのことでした。このように60年も前から仙台とネパールは結ばれていたことになり、それらの縁で「還暦をエベレストで迎える会」と相成った次第でした。

[1] 首都カトマンズ

スワヤンプナート寺院、クマリの館、（女神クマリの化身として崇拝される少女が初潮を見るまで住む）などを散策。周辺では古都バクタプル（別名バルガオン

ではネパールの歴史に触れ、ナガルコットの丘でヒマラヤの夕景を堪能した。（↓スワヤンプナート寺院）



[2] ポカラ（↓ヒンズー教寺院バザール）

ヒンズー教寺院・バザール、ペア湖を散策し、早朝にはノーダラ峠から、朝日に輝く名峰マチュプチャレとアンナプルナ山群の勇姿に感激。しかし一方では、派手な立派な建物は、グルカ兵（イギリス軍に属し、インド内外のイギリス植民地で活動したネパール人傭兵）として出兵した方々の家と知らされ、心が痛んだ。



[3] チトワン国立公園（↓チトワン国立公園）

亜熱帯草原の野生動物保護区でサファリを楽しみましたが、この地はのどかな田園地帯で、ネパール・イコール・ヒマラヤのイメージからはかけ離れておりました。



[4] ホテル・エベレスト・ビュー

いよいよエベレストとご対面（すでにベルガン湾からネパールに向かう飛行機から遠景のエベレストを眺めてはいるが）。ヘリコプターでヒマラヤ山脈を左手に眺めながらシャンボジュ空港（宮原さんがナムチュバザールを見下ろす丘に建設）へ。（次頁へつづく）

空港の標高はすでに富士山よりも高く、ホテルはさらに高い。高度馴化のためスローペースでホテルに向かうが、一行25名中数人を除き体調不良を訴え、酸素ボンベのお世話になる者もでた。幸い私は何事もなく、元気な者4人で麓のクムジュン村を探索することとした。クムジュンにはエベレスト初登頂者のヒラリー（イギリス登山隊）が建てた学校があり、我々が村に向かう途中、下校中の生徒と擦れ違ったが、ホテルとその間に家はなく、生徒達はかなりの奥地から通学しているものと思われた。

またクムジュンには探検家・植村直己が日本隊の一員としてエベレストに登頂する前年に、偵察のため越冬したシェルパのテンバ？さんの家もあり、お尋ねした際 EsKimo（エスキモー）の商標のあるシェラフザック（寝袋）を見つけ、植村が身近に感じられ、自分も一端の登山家になったような気分になってしまいました。ホテルからの眺望は素晴らしく、間近にはアマダブラムをはじめとする6000m級の山々が連なり、奥にはローツェとヌプツェとの鞍部にエベレストが頭を見せており、文句なしの還暦の幕開けでした。



↑ くだらかな中腹の山林の中にホテルが見えます

以上が旅行記ですが、ランドセルとの関わりで少し書いてみます。

私が旅した30年前のネパールは、識字率30%台と言われ、また就学率は80%台と高いが、卒業率は低い（子供を労働力として使わざるをえない貧困にある）、と言われていました。その後多方面から援助もあり（日本でも登山家・野口 健さん等の活躍もあり）、かなり就学環境は良くなっているものと思いますが、この間に大地震もあつたりして、思うように進めない、というのが実情ではないでしょうか。

この度のランドセルでの関りを機に、子供達が元気に就学している姿を思い描き、さらなる援助を、との思いを強くした次第です。また、宮原・一力両氏の観光立国の夢を加速させるためにも、皆様方にネパールへの訪問・観光をお薦めいたします。

ランドセルが繋ぐIBC 締結

11月3日から5日まで第30回アジア太平洋地域大会が香港で開催されました。その最終日、石巻広域クラブのスポンサークラブ仙台青葉城クラブ（加藤重雄会長）とネパール・ルンビニクラブとのIBC締結式が利根川アジア太平洋地域会長始め関係者が見守るなかで行われました。

2011年3月に発生した東日本大震災支援活動で協働関係にあった東京むかでクラブ、神戸ポートクラブ、石巻広域クラブの3DBCとプロジェクトの趣旨に賛同する有志クラブは、2021年にアフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈る運動を推進するため実行委員会を立ち上げました。活動を進める中で2022年には仙台青葉城クラブの加藤会長の働きでモンゴルの子どもたちに約800個を贈り、そして本年8月には在仙ネパール人協会支部長のハリ氏との出会いがあり、500個をネパールの子どもたちに贈ることになりました。9月例会にはハリ氏の仙台青葉城クラブへの入会式が行われ、急遽オンラインで出席された利根川会長、ルンビニクラブの初代会長マンダリ氏（現南東アジア区理事）と加藤会長はじめメンバーとの出会いがあり、今回のIBC締結に至りました。

11月5日、大会最終日に急遽病気のため入院された加藤会長の代理として菊地弘生ワイズが大会に参加し、マンダリ氏との間で調印式が行われました。



↑ IBC締結式記念撮影（左より清水、板村、山田、利根川、菊地、マンダリ、各氏） ↓ 下：左調印、右：記念品交換

